

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)オイレ工業藤沢事業場8号棟 建替計画	階数	地上3F
建設地	藤沢市桐原町8-1.8-2,10	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22の指定地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年10月 竣工	評価の実施日	2021年10月28日
敷地面積	4,014 m ²	作成者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所
建築面積	3,025 m ²	確認日	2021年10月28日
延床面積	7,036 m ²	確認者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B:★★ C:★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超:☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.3</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 2.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>主要なユーザーである自動車分野における技術革新や市場の新しい変化に対し、環境対応や省エネルギーにも資する独自の付加価値を提供するべく、革新的かつ効率的な研究施設。</p>		<p>その他</p> <p>既存設備の再利用や廃棄物の削減等。</p>
<p>Q1 室内環境</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>シンプルでフレキシブルなプラン。成形でシンプルな建物形状。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>工場立地法の基準を満たす緑地面積(15%)と環境施設面積(5%)を整備し、緑多く豊かな潤い空間をもたらしている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>環境への配慮として、屋根面に全面太陽光パネルを設置。LED照明設備により省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない材料を採用する。断熱性能の高い外壁や屋根の材料を採用し、冷暖房の使用エネルギーを削減している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>雨水貯留槽を設け、雨水流出を抑制している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される